

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			基準を満たしており広さは問題ない。中庭があり屋外でも遊べるスペースがある。また、クールダウンが必要な際には、パーティションを使用したりエレベーターホールを活用している。
	2	職員の配置数は適切であるか		○		最低人員配置基準に加え、2名以上児童指導員等を加配しているが、個別対応を必要とする利用者様が重複する日はそれでも職員の人数が十分ではないと感じることがある。そのため、職員一人ひとりの力量が向上するよう教育を行っていく必要がある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			室内には段差がなく、個室トイレには手すりがある。車椅子の方でもエレベーターを使用して室内に入ることができる。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			事業計画や個別支援計画、行事の起案書等において、評価・見直しを行う体制を整えている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		年一回アンケートを実施し、保護者様等の意向や要望の把握に努めている。また、改善できる点については、速やかに対応しているが十分な満足度を得られていない。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		○		ひらめきのホームページで自己評価の結果を公開しているが、機関紙等では公開していない。今後は機関紙でもお知らせしていく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	ひらめき2%として第三者評価を受けているが、放課後等デイサービス単独では受審していない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		職員の適性に応じて外部研修を受講する機会を設けている。内部研修については、定期的実施しているが十分な効果が得られていない。さらに資質が向上するために、運営の手引きの整備を行った上で教育を行う必要がある。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別支援計画の中間評価、終了時評価の際に保護者様と面談を行い、ニーズや課題を共有しながら計画書を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			共通のアセスメント票やグランドルール(個別の障がい特性をまとめた様式)を使用し、情報を共有している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			立案の原案を担当者が作成した後、児童発達支援管理責任者、管理者の順に稟議し安全に活動ができるよう努めている。

適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか			○	利用者毎に異なる課題を行う期間と買い物を行う期間とに分けて支援している。それぞれの期間において課題と買い物以外で、様々な活動を開発し提供していく必要がある。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか			○	平日、休日、長期休暇それぞれに応じて活動プログラムを用意している。ただし、内容については上記内容と同様により改善の余地がある。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個々の障がい特性に合わせ、個別活動と集団活動を組み合わせた計画を作成している。例えば中庭活動では始めに集団遊びを行ってから個別で遊ぶ機会を設けている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日朝礼を行い、その日の業務内容と利用児童の特性について確認を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後に問題点や気付いた点を話し合う時間を設けている。また、業務日誌へその日の支援の内容を入力しており、その内容は次回利用時の朝礼等にて情報共有に繋げている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			業務日誌にて支援の記録を残している。検証・改善が必要な事例については、ひやり・ハットとして改善案と共に業務日誌へ入力し、班会等で情報を共有している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			中間評価及び終了時評価の中で、見直しの必要性を判断しており必要に応じて見直しを行っている。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか				○	自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動についてはガイドラインに沿って提供している。地域交流の機会の提供については現在実施している買い物以外にも取り入れていく必要がある。また、余暇の提供については設問12と同様により改善の余地がある。
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				各種会議には、児童発達支援管理責任者や放課後等デイサービス専任職員が参加しており、必要に応じて担当職員も同席するよう配慮している。
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか				○	学校行事については、保護者様を通じ情報を得る機会が多いが、学校に連絡し情報を共有することもある。学校へのお迎えの際、学校でのその日の情報を得ることはあるが、逆に事業所の情報は伝わりにくいため学校との情報共有が課題となっている。

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現在、医療的ケアが必要な方の受入は行っていない。看護師不在のため受入については慎重に検討が必要。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	相談支援事業所を通じて情報共有を行っているが、直接就学前の事業所とは連携をとっていない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	必要に応じて、保護者様同意のもと、情報提供を行っている。相談支援事業所を通じて情報提供するケースが多い。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		1ヶ月に一度、講師を招き勉強会を開催し、発達障がいについての概要や個別のケース検討を行っている。また、外部研修にも参加し、より良い支援に繋がるよう努めている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	現在、交流する機会を設けていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		管理者が子ども部会の部会長として毎回参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時に申し送りを行ったり、連絡ノートを通じ、保護者様に利用時の様子を伝えている。また、年2回個別支援計画の評価、見直しのための面談を行っており課題等についての共通理解を図るよう努めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	機会を設けていない。ペアレント・トレーニングについて職員が学ぶ機会を設けていく必要がある。
	保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	
31		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○	相談を受けたら相談にのるが、知識不足、経験不足から、必要な助言と支援を行えているかどうか不明。年に2回面談を行う機会があるため、その際に施設側から悩みや相談にのれる体制を整える体制作りが必要である。
32		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		年2回ほど保護者懇親会を行っている。また、年1回保護者説明会を行っている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情解決規定に沿って迅速に対応している。

	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		2ヶ月に1回機関紙を発行し、活動内容等の情報を提供している。行事予定表は別途毎月配布している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		契約書第13条(秘密の保持)に基づいた対応を行っている。個人情報が記載された書類はシュレッダーで処分している。ホームページなど写真の使用についても保護者様の確認を行っている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		言語でのコミュニケーションが難しい場合は、個々に合わせた絵カード等を取り入れているが、改善の余地はある。保護者様との情報交換は、送迎時の申し送りや連絡ノートを用いて行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		入所施設と合同の秋祭りや、クリスマス会(デイサービス単独)では地域住民を招待したり、ボランティアとして参加してもらっている。地域に開かれた事業運営を目指すには十分とは言えないため改善が必要。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		職員に対しては、運営の手引きに沿って定期的に教育の機会を設けているが、十分とは言えないため継続して教育を行っていく必要がある。また、保護者様に手引きの内容を周知していないため内容の周知を行っていく必要がある。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年4回の避難訓練を予定しているが、曜日が固定されているため、参加児童もほぼ固定されている傾向にある。今後は実施する曜日の変更を検討する必要がある。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		朝礼時に虐待防止チェックリストを毎日読んでいる他、虐待防止に関わる職員研修を定期的に行っている。また、外部研修受講機会を設けている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		支援会議の中で、必要性の有無について話し合った上で決定している。その場合、個別支援計画に明記し、保護者様から了承を得ている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		アレルギーのある児童は現在いないが、事前に保護者様から聞き取りを行っている。対象者がいる場合は医師の指示書に基づき対応する体制を整えている。

	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットがあった際には改善提案とともに業務日誌に入力し、班会で共有している。また、必要に応じてグランドルール(個別の障がい特性をまとめた様式)を改訂し、毎朝礼時に読み合わせを行っている。
--	----	----------------------------	---	--	---